

2022年元旦

## 新年のご挨拶

きずな国際特許事務所

所長・弁理士 和田 成則

明けましておめでとうございます。

昨年は本当に色々なことが沢山ありました。特に五輪とコロナで明け暮れましたが、昨年は歴史上の1年になるものと思います。

五輪もコロナ感染を考慮して原則無観客となりましたが、止むを得ない処置かと思えます。また、昨年一年間の漢字一文字として、「金」が選ばれましたが、これも五輪を反映したものと思います。

五輪では金27、銀14及び銅17合計58個のメダルを獲得しましたが、この獲得数は世界3位です。

また、パラ五輪では13、銀15及び銅13合計51個のメダルを獲得しましたが、この獲得数は世界11位です。

私は特に野球とゴルフに興味を惹かれました。野球は小・中・高と野球少年として本格的に甲子園を目指していましたから、野球には殊更興味を抱いていました。五輪で稲葉監督の下優勝できたことは本当に嬉しかったです。

ゴルフは弁理士になってから始めた趣味ですが、稲見選手の日本ゴルフ史上初メダルは立派なものです。

スポーツは観者に感動と勇気を与えるものですが、パラ五輪にも感激しました。コロナは2019年12月に中国の武漢市で感染者第1例目が報告されているようですが、それ以来今年で3年目を迎えます。

しかし、その脅威は今もって全世界を揺るがしており、特に経済的損失は図り知れません。我が国は感染者数が大幅に減少しており、自由度も他国に比し向上しておりますが、まだ油断できないようです。

この2年間の間、コロナが我が国に与えた損失は飲食業、旅行業のほか我々特許業界にも波及しているのではないかと思います。

昔から「風が吹けば桶屋が儲かる」という諺がありますが、「コロナ」と「特許業界」との因果関係は分かりませんが、特許業界にも影響を与えていると思えます。

政府は今後時期を見て「コロナ感染」から「経済復活」に舵を切ると思いますが、我々特許業界にも目を配って欲しいと思えます。

朝の来ない夜はない、と言います。

今年も希望を持って、かつチャレンジ精神を持って頑張りたいと思えますので、よろしくご挨拶申し上げます。